

令和4年度(2022年度) ハラスメントに関するアンケート結果について(概要)

1 アンケート実施日

学 生:令和4年(2022年)4月~5月

教職員:令和4年(2022年)4月~5月

2 アンケート対象者数

学 生:1,678名

→新生を除く学部生・大学院生(男性678名、女性1,000名)

教職員:172名

→教員81名、事務職員30名及び非常勤嘱託職員57名(男性90名、女性82名)

※新任教職員を除く

3 質問内容

別添アンケート様式のとおり

4 調査結果

(1) アンケートの回収状況

<学生>

- ・ 学生ポータル内のお知らせ欄において依頼

<教職員>

- ・ 学内メールにより依頼

◆回収率:39% (学生:34% 教職員:89%)

(2) ハラスメントの内容

- ・ アンケートの結果、学生8名、教職員9名の計17名からハラスメントを受けたとの回答あり。
(R3:学生4名、教職員12名、R2:学生2名、教職員4名)
- ・ 内容は「アカデミックハラスメント」や「パワーハラスメント」に関するもの等であった。
- ・ 学生の被害については、学内の常勤・非常勤教員からが主で、教職員については上司や同僚からが主であった。

(3) 相談員への相談

- ・ ハラスメント相談員に相談した件数 4件

(4) その他の意見・要望

- ・ 学生及び教職員から、ハラスメント問題に関する個人の考え方、ハラスメントの実例、人権問題等の課題や必要性など、22件の記載があった。

(5) アンケートに関して対応する事項

- ・ 教職員を対象に実施する人権研修を必須研修とし、アンケート結果を参考としたハラスメントの防止等に必要な研修を行う。
- ・ ハラスメント相談員及び管理監督者向けにハラスメント相談対応研修を行う。